

ICT活用NEWS 15

Information & Communication Technology no. 15
 平成29年6月14日(水)発行
 日野市教育委員会ICT活用教育推進室

多くて週に1時間でも、インタラクティブスタディで確実に学力が定着!

坂城町立南条小学校 宮原明人先生(現・上田市立丸子中央小学校長)の実践紹介 ①

「ごく普通の小学校で多くて週1回の活用でも、確実に学力の定着が見られた」というインタラクティブスタディの実践事例が「第8回教育ITソリューションEXPO」で紹介されました。

日野市では、今年度から中学校もインタラクティブスタディを活用できるようになりますので、理解を深めていただく意味でも、実践の様子を3回に分けてご紹介いたします。

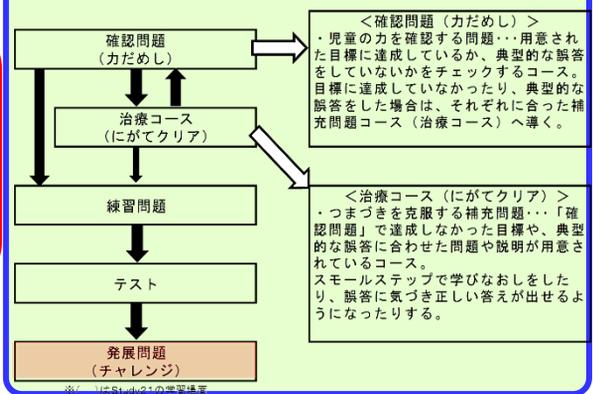
○実践校・期間 長野県 坂城町立南条小学校 ・平成26年1月～5月

○学年 3年、4年、5年

○ソフトウェア・教材 インタラクティブスタディ・Study21*

* 日野市導入済み

インタラクティブスタディ・Study21の構成



一斉授業では「わからないまま授業が進んでいる子」だけでなく、「簡単すぎてつまらない子」もいます。子供一人ひとりの力を最大限に伸ばすために、このシステムを使おうと思いました。



インタラクティブスタディは自動採点ドリルではありません！
 一人ひとりの目標の達成状況と誤答の傾向を診断し、補充が行われます。

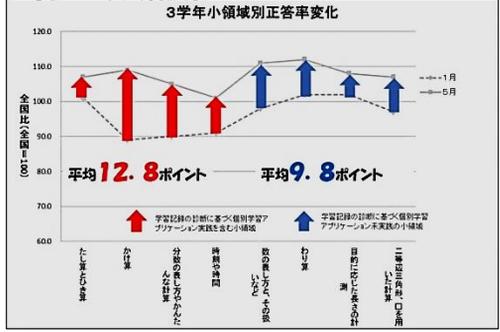
＜標準学力検査による単元別正答率の変化＞

▷実施時期 ・平成26年1月 ・平成26年5月

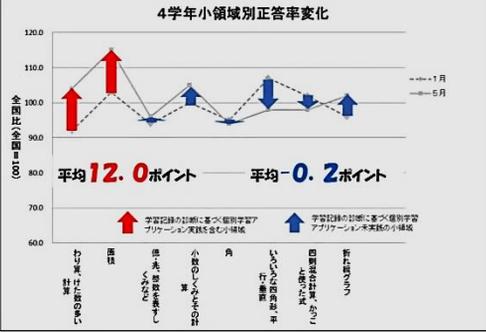
▷同じ検査問題を小領域ごとに平均正答率を求め、全国平均を100とした時の1月と5月の結果を比較

- ・赤矢印がインタラクティブ実践を含む小領域
- ・教科書の問題、ドリル帳、プリント教材などを使う学習も各担任の判断で実施。

3年生の実践結果

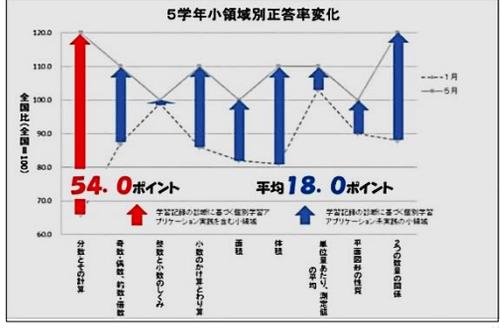


4年生の実践結果



きちんとノートを使って問題をとくことが大切です。
 あてずっぽうで答えを入力したり、ゲーム感覚になったら効果がありません!

5年生の実践結果



☆ポイント1
ノートに問題を書き写し、答えを出してから、コンピュータに入力



☆ポイント2
わからない時は、友達と相談してもOK!
もちろん、答えは教えないよ

先生は、本当に支援が必要な児童・生徒の指導に時間をとりやすくなります。

引用 ・信州大学教育学部附属教育実践総合センター、2015,信州大学教育学部附属教育実践総合センター紀要「教育実践研究」第15号、「ICTで築く確かな学力」信州大学学術研究院教育学系教授 東原義訓・宮原明人共著
 ・信濃教育会、2015,雑誌「信濃教育」5月号、「ICTで築く確かな学力 ～学習履歴から読み取る個の学び～」宮原明人著